

全部床義歯補綴学（Ⅰ・Ⅱ）

責任者・コーディネーター		歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 小林 琢也 教授	
担当講座（分野）		歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野）	
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習 実習
期間	前期		前期 22.0時間 62.0時間 後期 — —

学修方針（講義概要等）

歯科補綴学とは、歯・口腔・顎・その関連組織の先天性欠如、後天的欠損、喪失や異常を人工装置を用いて修復し、喪失した形態または障害された機能を回復するとともに、継発疾病の予防を図るために必要な理論と技術を考究する学問である。

全部床義歯補綴学では、片顎または上下両顎のすべての歯を喪失した症例に対し、全部床義歯によって修復・整形し、損なわれた口腔と関連組織の形態と機能および外観を回復させるとともに、患者の健康の維持・増進を図るために必要な方法に関して、理論と技術を修得することを目的に学修する。

教育成果（アウトカム）

全部床義歯補綴学の講義および実習では、無歯顎患者の喪失あるいは低下した形態と機能を回復・向上させ、健全な社会生活を送るため、無歯顎患者補綴治療の基礎理論を学修し、全部床義歯の基本構造や支持・維持・安定の原則を学修する。また、無歯顎患者の診察、診断、適切な治療計画の立案、義歯の設計理論と製作工程、装着後の調整に至るまでの知識と技術を修得する。

（関連するディプロマポリシー：1, 4, 6）

到達目標（SB0s）

1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。D-5-3-2-1
2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。D-5-3-2-2
3. 全部床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、安定、咬合平衡を含む)を理解している。D-5-3-2-3
4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。D-5-3-2-4
5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。D-5-3-2-5
6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。D-5-3-2-7
7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。D-5-3-2-8
8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。D-5-3-2-9
9. 全部床義歯のろう義歯試適、装着及び調整を理解している。D-5-3-2-10
10. 全部床義歯装着後のメインテナンスの意義と方法、調整を理解している。D-5-3-2-11
11. 可撤性義歯のリラインと修理を理解している。D-5-3-2-12

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている次回の授業と実習内容を確認し、教科書と実習書を用いて調べ、事前学修として疑問点を整理しておくこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

【事後学修】

講義後にポストテストを実施する。ポストテストで理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

(事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する)

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/16 (水)	1	小林琢也教授 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学① (診察・検査・診断) 全部床義歯補綴の診察法を理解する。 講義・ディスカッション	1. 無歯顎の病態を説明できる。 2. 概形印象採得と研究用模型について説明できる。 3. 個人トレーの製作について説明できる。 4. 印象材の種類と適応を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-1] 事前学修：無歯顎の病因と病態および治療法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	4/16 (水)	2	小林琢也教授 佐藤宏明助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学② (上顎精密印象採得) 全部床義歯製作に必要な上顎の口腔の解剖と精密印象採得を理解する。 講義・ディスカッション	1. 上顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 2. 上顎の筋圧形成に関わる筋を説明できる。 3. 筋圧形成の意義を説明できる。 4. 精密印象の目的と方法を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-4] 事前学修：上顎の印象採得法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	4/23 (水)	2	小林琢也教授 佐藤宏明助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学③ (下顎精密印象採得) 全部床義歯製作に必要な下顎の口腔の解剖と精密印象採得を理解する。 講義・ディスカッション	1. 下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 2. 下顎の筋圧形成に関わる筋を説明できる。 3. 筋圧形成の意義を説明できる。 4. 精密印象の目的と方法を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-4] 事前学修：下顎の印象採得法について教科書を用いて教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	4/30 (水)	2	小林琢也教授 佐藤宏明助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学) 全部床義歯補綴学④ (垂直的顎間関係の記録) 無歯顎患者の垂直的顎間関係の記録法を理解する。 講義・ディスカッション	1. 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 2. 咬合高径の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-5] 事前学修：垂直的顎間関係について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	5/21 (水)	2	小林琢也教授 米澤悠助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学) 全部床義歯補綴学⑤ (水平的顎間関係の記録) 無歯顎患者の水平的顎間関係の記録法を理解する。 講義・ディスカッション	1. 水平的顎間関係の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 2. ゴシックアーチ描記法を説明できる。 3. 咬合床に記入する標示線を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-5] 事前学修：水平的顎間関係について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	5/28 (水)	2	小林琢也教授 米澤悠助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学) 全部床義歯補綴学⑥ (人工歯の選択と咬合器装着) 人工歯の選択と咬合器装着について理解する。 講義・ディスカッション	1. 基本的な顔型、SPA要素、標示線、大きさ、症例による人工歯の選択を説明できる。 2. 咬合器装着について説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-6、D-5-3-2-7] 事前学修：人工歯の種類、選択方法、咬合器装着方法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	6/4 (水)	2	小林琢也教授 米澤悠助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学) 全部床義歯補綴学⑦ (前歯部人工歯の排列) 前歯部人工歯の排列について理解する。 講義・ディスカッション	1. 基本的な前歯部排列の方法を説明できる。 2. 垂直被蓋と水平被蓋について説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-8] 事前学修：前歯部人工歯の排列の目的と手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	6/11 (水)	2	小林琢也教授 原総一郎助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学) 全部床義歯補綴学⑧ (臼歯部人工歯の排列と咬合様式) 全部床義歯に用いる臼歯部人工歯の排列について理解する。 講義・ディスカッション (咬合様式) 全部床義歯に与える咬合様式の種類を知り、両側性平衡咬合を理解する。 講義・ディスカッション	(臼歯部人工歯の排列) 1. 臼歯部人工歯の排列の基本原則を説明できる。 2. 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、パウンドライン、調節彎曲を説明できる。 (咬合様式) 1. 咬合様式の種類を列挙し、有歯顎と無歯顎の咬合様式の違いを説明できる。 2. 全部床義歯に付与する咬合様式を列挙し、説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-8] 事前学修：臼歯部人工歯の排列の目的と手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	7/16 (水)	1	小林琢也教授 原総一郎助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学) 全部床義歯補綴学⑨ (歯肉形成とろう義歯試適) ろう義歯試適時の検査内容、研磨面形態の意義と歯肉形成の方法を理解する。 講義・ディスカッション	1. ろう義歯試適時の検査項目を列挙できる。 2. 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。 3. 研磨面形態が義歯の維持、安定におよぼす影響を説明できる。 4. 研磨面形態の形成法と歯肉形成を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-7、D-5-3-2-8、D-5-3-2-10] 事前学修：ろう義歯試適時の検査項目と手法について教科書を用いて調べるものとし、最低30分以上を要する。
講義	7/23 (水)	1	小林琢也教授 米澤悠助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学) 全部床義歯補綴学⑩ (埋没・レジン填入・重合・研磨) 埋没・レジン填入・重合・研磨の方法を理解する。 講義・ディスカッション	1. 全部床義歯と部分床義歯の埋没・レジン填入・重合・研磨の方法について説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-9] 事前学修：埋没・レジン填入・重合・研磨の方法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	7/23 (水)	2	小林琢也教授 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学⑪ 全部床義歯の装着に際する診察や注意ならびに装着後の患者指導を理解する。 講義・ディスカッション	1. 粘膜面および咬合面の調整について説明できる。 2. 患者指導内容を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-10] 事前学修：咬合器再装着による咬合調整の目的と義歯装着の手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
----	-------------	---	-------------------------------	--	--

実習日程表

実習	4/16 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (咬合床の製作①②) 全部床義歯咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。	1. 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 2. リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	4/23 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (咬合床の製作③④) 全部床義歯の咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。	1. 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 2. リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 3. 光重合型レジンと練和し、基礎床の圧接ができる。 4. パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 5. 人工歯の標準的排列位置を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	4/30 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (咬合床の製作⑤⑥) 全部床義歯咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。	1. 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 2. リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 3. 光重合型レジンを経練し、基礎床の圧接ができる。 4. パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 5. 人工歯の標準的排列位置を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	5/21 (水)	3	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (咬合床の製作⑦) 全部床義歯咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。	1. 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 2. リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 3. 光重合型レジンを経練し、基礎床の圧接ができる。 4. パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 5. 人工歯の標準的排列位置を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	5/21 (水)	4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (顎間関係の記録・咬合器装着①) 顎間関係の記録の術式を理解し、顎間関係の記録法を修得する。	1. 咬合床を用いた咬合採得を説明できる。 2. 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 3. 咬合床に標示線を記入できる。 4. スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-5、E-5-3-4-2-6] 事前学修：咬合採得の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	5/28 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (顎間関係の記録・咬合器装着②③) 顎間関係の記録の術式を理解し、顎間関係の記録法を修得する。	1. 咬合床を用いた咬合採得を説明できる。 2. 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 3. 咬合床に標示線を記入できる。 4. スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-5、E-5-3-4-2-6] 事前学修：咬合採得の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/4 (水)	3	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (顎間関係の記録・咬合器装着④) 顎間関係の記録の術式を理解し、顎間関係の記録法を修得する。	1. 咬合床を用いた咬合採得を説明できる。 2. 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 3. 咬合床に標示線を記入できる。 4. スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-5、E-5-3-4-2-6] 事前学修：咬合採得の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	6/4 (水)	4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯の排列①) 人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯の排列について理解する。	1. 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 2. 適切な被蓋関係を付与できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、D-5-3-2-8] 事前学修：前歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/11 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯の排列②③) 人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯の排列について理解する。	1. 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 2. 適切な被蓋関係を付与できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、D-5-3-2-8] 事前学修：前歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/25 (水)	1 2	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯の排列④⑤) 人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯の排列について理解する。	1. 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 2. 適切な被蓋関係を付与できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、D-5-3-2-8] 事前学修：前歯部人工歯の排列の手順について教科書を用いて教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/25 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯の排列①②) 人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯の排列を理解する。	1. 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 2. 顎堤に対する人工歯の頬舌的および近遠心的な位置関係を付与できる。 3. 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、D-5-3-2-8] 事前学修：臼歯部人工歯排列の手順について教科書を用いて教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	7/2 (水)	1 2 3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯の排③ ～⑥) 人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯の排列を理解する。	1. 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 2. 顎堤に対する人工歯の頬舌的および近遠心的な位置関係を付与できる。 3. 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、D-5-3-2-8] 事前学修：臼歯部人工歯排列の手順について教科書を用いて教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	7/9 (水)	1 2	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯の排列⑦⑧) 人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯の排列を理解する。	1. 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 2. 顎堤に対する人工歯の頬舌的および近遠心的な位置関係を付与できる。 3. 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、D-5-3-2-8] 事前学修：臼歯部人工歯排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	7/9 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (歯肉形成と研磨面形態①②) 完成義歯の研磨面形態、上顎義歯の口蓋後縁封鎖を理解し、術式を習得する。	1. 適切な研磨面形態を付与できる。 2. ポストダムを付与し、後縁封鎖ができる。 3. 上顎基礎床口蓋部をワックスに置換できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：歯肉形成と研磨面形態および後縁封鎖の目的と手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	7/16 (水)	2 3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	全部床義歯補綴学実習 (歯肉形成と研磨面形態③) 実習試験 完成義歯の研磨面形態、上顎義歯の口蓋後縁封鎖を理解し、術式を習得する。	1. 適切な研磨面形態を付与できる。 2. ポストダムを付与し、後縁封鎖ができる。 3. 上顎基礎床口蓋部をワックスに置換できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：歯肉形成と研磨面形態および後縁封鎖の目的と手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	8/20 (水)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明助教 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (有床義歯・口腔リハビリテーション学)	歯科補綴学総論実習①② (咬合と下顎運動の検査、顔弓記録、咬合器装着) 咬合と下顎運動の検査の方法を習得し、顔弓記録と咬合器装着の手法を理解する。	1. 咬合と下顎運動の検査ができる。 2. 顔弓記録が行える。 3. 作業用模型を調節性咬合器へ装着できる。 [E-5-3-4-2-6] 事前学修：下顎位の種類や下顎運動の特徴、フェイスボウトランスファー、咬合器装着の意義と目的、および手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学習：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書および実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	無歯顎補綴治療学 第4版	市川哲雄ほか編	医歯薬出版	2022年
教	コンプリートデンチャーテクニク 第6版	細井紀雄ほか編	医歯薬出版	2011年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義評価の方法は、以下の評価方法と割合で行う。

- ・定期試験 90%
- ・平常点（ポストテスト、レポート）10%

合格は65点以上とする。

実習評価の方法は、以下の評価方法と割合で行う。

- ・実習試験 90%
- ・平常点（実習における制作物の評価）10%

実習評価において、全ての実習内容を履修し、ライターの確認、検印を受けることで、実習試験の受験資格を得ることができる。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

【フィードバック】

- ・非常勤講師担当以外の講義では講義後に試験（ポストテスト）を行い、試験に関する解説は、次の講義時にフィードバックする。
- ・提出されたレポートは、採点后、コメントをつけて返却する。

【アクティブラーニング】

講義/演習日程表の「ユニット名 内容」の欄に別途記載済み。

【ICT】

講義前にWebClassに資料を提示するので事前学習に利用すること。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE- I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
ノートパソコン一式	PCLZ750TSB (SSS)	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ジルコニア焼結用ファーマースー式 (KavoEverestTherm)	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム（実習用）製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
歯科用拡大鏡・サージテルルーペ・オークリレーター	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成、技工のため
コピー機・ミニコピー	DPC995	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
10.2インチiPad Wi-Fiモデル	MK2P3J/A	1	視聴覚用機器	学生講義、研究用